

第3号議案 2009年度事業計画

5 エリア* (狭山、所沢、川口、大宮・熊谷、越谷)、
4 部門 (受託、食、福祉、情報文化) の体制を継
続し、全体で6 ワーカーズを作る。今年度は『生
活クラブが創る地域福祉』に関する連合会機能
の発揮も想定される。さらに多様な中間支援
組織としての役割を担うために、活動資金の充実
は不可欠であり、昨年度実施した会員ワーカーズ
の実態調査データを基に、資金拠出のあり方を検
討します。

*昨年度まで「ブロック」としていた地域の区画名を、生活
クラブの名称との混同を避けるため「エリア」とする。

第4号議案 2009年度予算

収入 2,568,551 円 支出 2,547,400 円

活動費および交通費の予算額は 1,006,400 円に
なります。

今年は第2次中期計画の2年目です。
ワーカーズの働き方をさらに社会に
広めていきましょう。

第2次中期計画 2008年～2010年

協同組合地域社会づくり

人を生かす参加型の働き方で、人が主人公の
社会をつくらう。

ワーカーズ・コレクティブは、自分達で出資
し経営し労働も担う「働く人の協同組合」です。
様々な面で自分たちの暮らしや社会を良くして
いくための経済組織であり、そのための運動体
なのです。私たちは、「あったら良いな」と思う
「モノ」や「サービス」を自らの手で作り出し、
より人間的で質の高い社会を目指します。

こうした社会を実現するために、たくさんの
ワーカーズを作り、同じ思いを持った仲間を増
やし、地域社会と連携していきます。



すべての議案が承認された

Q
A

どの事業体も一律の分担金
額は疑問。
額の再検討をすべきだ。

収益性と社会的意義のはざ
間でどう折り合っていくか、
多面的議論をしていきたい。

地域福祉を担うワーカーズの設立が新
年度の活動の柱であること、そして、全国
会議の埼玉開催を成功させることを確認
しあった総会でした。

全体研修

「ワーカーズコレクティブが地域をつくる」

総会後にワーカーズ
運動のこれから
を示唆する講演会
が行われた



市民セクター
政策機構
澤口隆志理事長

澤口氏は生活クラブ神奈川の職員であった経
験から、生活クラブ組合員・ワーカーズ・生活ク
ラブ職員の3者が、参加・分権・自治を追究する
ことによって地域の問題を解決してきたと言う。
そして現在豊かに展開する生活クラブ神奈川の
まちづくり運動およびそこに付随する組合員主
権の広がり、ワーカーズへの業務委託と組合
員・ワーカーズ・職員3者のパートナーシップの
広がりがあったと主張する。しかしそれは互いに
尊重しあう中でも、常にぶつかり合い、点検し、
試行錯誤を重ねて作り上げていかなければなら
ないものであった。

ワーカーズも実力を持って地域を豊かにする
ための提案を主体的に行い、その使命を高めるべ
きだ、などと氏は説いた。